

天氣かわるい折々には、清水の市街方面にも、宣傳費をいたしたくないと存じて居ります。又賢習生諸子が見えたら、其實驗をお目にかけやがて世帯を持つ時には、是非此

本當に困つた事でした。十二日曜二時開始を迎へました。列車會社見學は十三日になり、山荘に來らるゝ時間が、少く

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政黨を超越して、村を充實主義を標榜す。
- 二、村内外各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總規和總努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事興行を奨励し、且之を獎勵す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘力を以て、國民指導に當る。

内郷村報

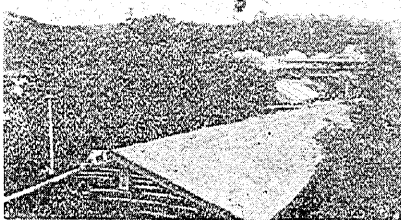
天法人則
ニ從順ナ
ルベシ

木を植ゑて十餘年

大内民惠

回顧すれば、記者が七年會を創立したのは、十四年の昔、大正十二年であつた。其頃こゝ宮澤二番地は、大洪水の跡を、地上げした處であつて、そこに我三棟の長屋が建てられ、東南方一帯は、廣々とした石川原ともいふべき空地であつた。其後漸次長屋が建てられて人煙稠密せる今日に到つたものである。實際其頃の我宮澤は、一本の草も木もない、眞に蕭條たる處であつた。而して記者は、其翌年「常磐礦報つるはし」を發刊するに及んで、其紙上に植樹デーの規定や、植樹の歌を創作發表して、盛に常磐炭田に向つて、植樹を奨励すると共に、七年會の四周は勿論、我宮澤の全地域にわたつて、時の建築課から、ボプラ、プラタナス、アカシヤ櫻等の苗木を貰ひ

うけて、限なく植ゑつけて之が愛護培養を開始したのであつた。然るに爾來春風秋雨十餘年を経たる今日、我別館樓上より、全宮澤を展望するに、當年植ゑつけ



るたし望眼りよ上樓館別
部一の會年七

た樹木の現存せるものは、眞に寥々たるものであつて、わづかに我七年會の一廓のみが、長屋を覆ふはなばかりに、鬱蒼たる木立をなして居るに過ぎないものである。而して此等の樹木

が春夏秋冬其折々に、それぞれの風情をそへて、我等の生活を潤ほす事が、少なくなかつたのである。こゝに於て記者は、思はず少年時代に愛讀した、劉廷芝の『白頭を悲む翁に代る』の詩を思ひ出した。

（前略）……洛陽城東桃李の花
飛び來り飛び去つて誰が家にか
つ 洛陽の女兒顔色を惜み 行く

會員二百名募集

（昭和十一年九月より）

- ◆一家を更生せんとする 戸主 長男は來れ
- ◆一身を立てんとする 二男 三男は來れ

◆詳細は申込み次第
『七年會案内』を送る

磐城炭礦從業員寄宿舎
大正十二年創立 七年會

福島縣石城郡内郷村（常磐線）

行く落花に逢ひて長へに歎息す
（中略）
年々歳々花相似たり 歳々年々人
同じからず 言を寄す全盛の紅顔
子 應に憐むべし 半死の白頭翁
（中略）
宛轉たる蛾眉能く幾時ぞ 須臾に
鶴髮乱れて絲の如し 但見る古來
歌舞の地 惟黃昏鳥雀の悲むあり
當年我を助けて、此等の木を植ゑた。心友卷階君は、既に逝いて八年となつた。

十余年前に、直径一寸足らずの苗木が、今日ではかく迄に成木して居るのである。之から推して、今から十年後五十年後、乃至百年後に於てはどうであらう。幸に天災地變なく、我磐炭が、我内郷村が、現状を維持するに於ては、年々歳々、延び行き繁り行いて、亭々雲際を摩するに到るや疑なしである。之に反して我等の人事は、歳々年々、遷り行き變り行いて、古人復た洛陽の東に無し、今人還つて對す落花の風である。菅原道真公が、九州に貶謫せられ、出發に際して

東風吹かば匂ひおこせよ梅の花
あるじなきとて春な忘れそ
の一首を、庭の梅樹にのこしたといふが、我等もいつかは、此地は勿論、此世をも去る事になつて、永遠に此等の愛樹と、訣別せねばならぬ時があるのである。之を思ふ時に記者は、菅公の一足先きを行つて

千代の際つくれ木々に祈る哉
植ゑたる我は世をばさるるも
の感なき能はずである。但しかうなつて來ると、何だか辭世めいて來るが、南無天法人則！おそかれ早かれ此世をお暇する事に定つて居るのである。何事も、天法なり、人則なりだ。悠々自適、生ある間は、大に此世を樂しみ、大に此世のため

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

本紙定価 一月五圓 三月一五圓 半年二八圓 一年五二圓
發行所 内郷村報社
〒97-0101 福島縣石城郡内郷村
電話 2100
印刷所 平活版所

八月二日 誌きより、詳細にかいた寺岡式炊事器宣傳通信があつたが、之は折を見て發表する事とした。
民 惠

内郷禁酒貯金會

沈香も焚かず、尻も放らずは男子の潔しとせざる處、よろしく酒も飲め、煙草もふかせ、かはりに大に働いて、身上もつくつて、生甲斐ある人間らしき生活をせよといふのが、記者の主義である。されど世の中には住々酒に耽溺して、一身を滅すは勿論、妻子眷族にも苦勞をかけるものが少くないので、そうした人々は、相戒めて禁酒を断行し、其幾分を貯金する様にせよといふ方針をとり居るのである。丁度今から四年前の、昭和八年九月、齋藤齋國分久の兩氏が、こゝに鑑みる處あり、内郷禁酒貯金會を發起創立し、記者は推されて會長となつて今日に至つたものであるが、善い事はなか／＼繼續が困難なもので、當時六十余人を算した會員も、何時の間にか一人へり二人へつて、今日迄引きつゞき、會規を遵奉して、一ヶ月金拾錢以上を貯金して来た者は、實に左の十二氏に過ぎなかつた。こゝに於て同會では、近く總會を開いて、いよいよ其結束を堅くすると同時に、緊實なる會員の募集を開始する事となつた。

- 安島廣三郎 樋口 忠雄
吉田 清助 沖野 照明
小松 利保 三浦源四郎
平山 直藏 安島 英雄
折笠耕三郎 田中 富夫
大倉 米藏 大内 民恵

第一條 本會ハ内郷禁酒貯金會ト稱シ事務所ヲ内郷報社内ニ置ク
第二條 本會ハ禁酒貯金ヲ兼テ精神ノ修養ヲナスヲ以テ目的トス
第三條 本會ノ趣旨ニ參同スル者ハ何人ト雖モ入會スル事ヲ得
第四條 會員ハ禁酒ヲ断行シ一ヶ月金拾錢以上ヲ貯金スル義務ヲ有ス但シ貯金ハ餘額ノ名義ヲ以テ郵便貯金トシ其通帳ハ會長之ヲ保管シ其承認ヲ得ルニテラザレバ拂ヒ戻ス事ヲ得ズ

方面事業取扱數

八月中に於ける方面委員の取扱ひたる件數は左の通りである。生活扶助、法合に依るもの、二六。然らざるもの、一。兒童保護、法令に依るもの、四八。相談指導、二一。戸籍整理、二。職業其他紹介、三〇。教化一〇。其他二。計一四〇。カード登録世帯人口、第一種、世帯三五、人口一三三。第二種、世帯八一、人口三六六。生活安定、世帯二、人口一〇。

海水浴とプール

警察健康保険組合では、從業員の健康と慰安とを兼ねて去る七月二十日より八月

二十五日に至る一ヶ月間、小名濱海水浴場に廣大なる無料脱衣場を設け、軌道割引其他の便宜を計り、一大成績を挙げた。此の一ヶ月間の入場人員は、被保険者家族共合せて七千人を突破して居ることである。又一方警察の大プールは、七月十五日より九月十五日に亘る二ヶ月間一般従業員に開放し、その入場人員は九千二百人と云はれて居る。(伊藤生)

第四回常磐炭礦

水上選手權大會

八月二十三日、警察プールに於て、日本鑛山協會仙臺地方常務委員會主催第四回常磐炭礦水上選手權大會が華々しく舉行された。

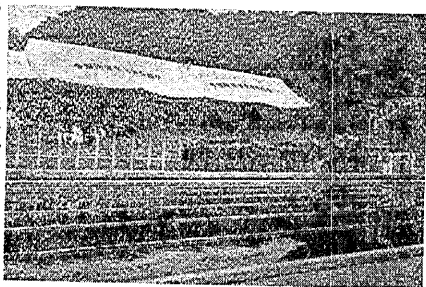
は一層昂り、殊に前年の覇者磐炭チームの各選手は、再制覇の決意固く、百米自由型に新記録で先づ優勝し各種目も大接戦の後、八種目中、五種目に従來の記録を更新し、再び覇權を獲得した。午後四時三十分、賞状受與、審判長の講評有り次いで菅原警察所長の發聲で萬歳三唱、同五時大會の幕は下された。尙戰績は別表の通りである。(伊藤生)

第一回磐炭對抗

陸上競技會

思ひば五年の昔、即ち昭和六年の秋、思はぬ蹉跌に依り各礦競走部は、次第に茨の路を歩むに至つた。せめては昔日の面影をの常磐地方競技會に再現せんものとの、主催者間の熱意に依り去る八月二十六日第一回磐炭入山對抗競技會を、入山グラウンドに於て舉行した。スポーツ愛好者の絶大なる聲援裡に、此の意義ある競技會は無事終了した。得点左の如し。

入山	磐炭	計
3	3	33.75
3	6	23.25
3	3	
3	3	
4	4	
2.25	6	
0.5	0	
3.75	5.5	
3	3	



式場開會大

種目	1	2	3	優勝記録
100米自由形	磐炭 庄司猛夫	入山 菅野	入山 長澤	新記録 1分6秒6
100米背泳	古河 澁谷春雄	入山 金成	磐炭 庄司駒夫	5分42秒6
200米背泳	佐藤利次	入山 菅野	磐炭 大森	新記録 1分22秒1
200米自由形	磐炭チーム	入山チーム	古河チーム	新記録 2分0秒5
200米平泳	入山 猪狩金三郎	磐炭 矢内	磐炭 高木	3分22秒
1500米自由形	古河 澁谷春雄	庄司猛夫	入山 金成	32分3秒6
3000米混泳	磐炭チーム	古河チーム	反則失格	新記録 4分2秒1
3000米混泳	磐炭チーム	入山チーム	古河チーム	新記録 10分51秒6

教育制度改革概論

矢野 恒太 大内 民恵 著
風潮字之吉

行き詰れる現代の教育制度を整理して、學理を實際に、歴史を實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違あらず。未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威

前京大總長小西直博博士
密を寄せて曰く、多年ノ御體験ヲ實地ノ御試練ニ基テ眞摯愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思感激ニ打テ申候云々。

發行所 日本評論社

東京橋本三丁目
取次所 内郷村報社

我村の防空演習

本村に於ても、其筋の命令により、九月十一日十二日行したのであつた。

生活改善會

同會に於ては、其主旨宣傳と、炊事法普及の爲、盛に活動中である。

敵すものは有りません。

殊に我皇室に於かせられましても御苑に御培養遊ばるれ毎年士臣をして菊花を觀

但シ期日ハ植付ケノ好季

ヲ計リ通知書ヲ差出ス事一、會員ノ便宜ヲ計リ用具及ビ用土等ヲ實費ヲ以テ

する事となつた。
 會員貯金總額
 金八拾八圓貳拾四錢
 會員氏名 (順序不同)
 去る七月二十一日より八月

教育制度改革概論

(四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

矢野 恒太序 大内民憲著
 風靡宇之吉

我村の防空演習

本村に於ても、其筋の命令により、九月十一日十二日の兩日にわたつて、防空演習を行つた。先づ其準備として、縣より指示せられたる、心得及規定に基づいて、定めたる防護團規約及實施要領によつて、之を實行し、頗る好成績を挙げた。

武富少將講演

九月六日午後一時より、磐炭主催にて、淺野翁頌徳館に於て、武富海軍少將の大講演があつた。「南方の重大性と我海軍」の題下に、滔々二時間の熱辯を振ひ、聽衆に多大の感動を與へた。聽講者は磐炭各方面幹部級の人々二百餘人で、講演後「防空日本」及「敵機襲來」の全發聲映畫の映寫があつた。

家政校長更迭

在職二年五ヶ月、見るべき成績を挙げた、家政女學校長弓田庸氏は、郷里大沼郡玉路村の神官たりし令兄逝去につき、其後を繼ぐべく九月十日を以て、退職したるを以て、其後任として、菊多實業學校教諭佐川文雄氏來任した。

磐炭の盆踊

磐炭の名物盆踊は、例年の通り、舊盆十四日より三日間、宮山神社、金坂運動場、綴山神社の三ヶ處に於て、盛大に行はれた。

生活改善會

同會に於ては、其主旨宣傳と、炊事法普及の爲、盛に活動中であるが、村内に於ては、既に町田御殿兩方面の講習を終へたるを以て、近日中より緩方面の講習を開始する事になり(酒井調理士擔任)村外は、目下羽下調理士擔任となつて、平町を中心に活躍中である。

盆踊

盆踊 高木無山
 踊の輪舞にやめて、磯山巡視
 金魚屋をやめて、抗夫さなりけり
 長き夜や抗夫長屋はみな早寝
 月の川嶺山の筋れさは見え
 並んではあるけぬみちや受珠沙華
 松浦 十方
 地藏會や狸ばやしの繪行燈
 信心の母にまかせて盂蘭盆會
 江連 半仙
 放し飼ふ首の軍雞や秋機
 羽技鳥眼りけんこしては醒む
 扇風機止めて貰ふて再診す

菊花培養の秋芳會

松本隆好氏等が中心となつて、菊花培養團體が組織せられ、會員募集中である。其趣旨會則は左の通りである。

趣旨
 菊は吾國の國花にして總べての花の精なりとは誰しも知る事でありまして是に匹敵するものは有りません。殊に我皇室に於かせられましても御苑に御培養遊ばされ毎年土臣をして菊花を觀賞せしむるの御儀があるのであります。かるが故に菊の栽培は永久に衰退する事はありません。又我皇室の御紋章なるが故に菊を栽培する事が皇室を尊重する國民たる義務の感があります。更に菊を栽培する様な人は住所の移動するを厭ふの結果炭礦界に従業する人々には永住するの考に基づき何事にも辛棒する様になりますから會社の爲にも將た自分の爲にも宜しい事と思ひます。此意味に於て吾等茲に發起人となり、本會を組織し會員を募集する次第でありますから續々御入會あらん事を偏に希望致します。

我國教育學界の權威
 前京大總長小西重直博士
 書を寄せて曰く、多年ノ御體験ヲ實地ノ御試練ニ基ク眞摯愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思議敬ニ打テ申候云々。

發行所 日本評論社
 東京橋本三丁目
 取次所 内郷村報社

300米混練泳	澁谷香雄	庄司猛夫	金山成	32分3秒6
300米自由泳	磐炭チーム	古河チーム	入山成	4分2秒1
500米自由泳	磐炭チーム	古河チーム	反則失格	新記録
1000米自由泳	磐炭チーム	古河チーム	古河チーム	10分51秒6

但シ期日ハ植付ケノ好季ヲ計リ通知書ヲ差出ス事一、會員ノ便宜ヲ計リ用具及ビ用土等ヲ實費ヲ以テ分譲ス
 一、發起者ハ是迄ノ實驗ヲ公開シ互ニ優秀花ヲ作出ス可ク指導獎勵ス
 而シテ十一月一日ヨリ七日間品評會ヲ開催ス
 贊助員 以上

船田義隆氏

磐炭附屬病院醫員たる同氏は、新潟縣新發田町桂醫院に榮轉不日出發の由。

- ◎本紙贊助金寄贈芳名
- 金貳圓 小名濱 森口 徳郎
 - 金貳圓 十勝 拓北 組合
 - 金壹圓 東京 酒井 テル
 - 金壹圓 好間 西蓮寺 勇
 - 金五拾錢 内郷 岩崎 義美
 - 金參圓 同 齊藤 定輔
 - 金參圓 大沼 弓田 庸
 - 金壹圓 東京 渡邊 清也

開拓記録 (三)

北海道十勝國上川郡 大内 一き 二み

(前略) 御送附の寺岡式釜昨日受取りました。いらく、澤山のお菓子もほんたうに有り難う御座います。先生生徒二十三名、來莊の通知がありましたので、それ迄に目下除草に大奮です。もう八分通り済みです。今日午後から、一邸と信雄を、先便で申上げた。稲黍畑をおこし始め、二、三日中には、藪藪を終わる予定です。私文子は、明日から残った部分の除草をいふ段取りです。兎に角實習生を見學に派遣せらるゝのを見る、松野場長さん、成績の見るべきものある事をお認め下さつたものと、山莊一同の喜びが、あつて居ります。次に畜舎の普請にかかふ板も足りないので、昨日から又キヨリが来て居ります。會の事務員一同から、私宛に書面がありましたから、よろしく申傳へて下さい。

釜を使用する様、お勤めするつもりで居ります。一邸も同感です。木下さんでは、丁度餅をついたのであつたので、御馳走になつたり頂いたりして歸つて来ました。前申す通り暴風雨で、除草も半ばなので、昨日午後から、新築の畜舎へ、家畜一同を移しました。明日は天候になつてくれ、ばよい、祈つて居ります。未だですがお薬と海苔がありがたう御座いますから、昨日チブスの注射なそうです。今朝から呑みはじめました。昨日福島の安田さんから、櫻桃をいただきました。

短かくなりました。十三日午前七時、安孫子先生を先頭に、中島助手及び實習生全員二十三名來莊。暫く及び見る眼に懐しく、二時間一寸許り、各園場を見學され、又色々参考になるお話を、聞かせて下さいました。時間の關係上、釜の實驗をお目にかける事が出来なかつたのは遺憾でした。お別に際し、小生普頭をさつて、萬歳を三唱して、お送りいたしました。遠藤さんから、上田君がよくやつて居るから、安心して居られる様にいふ便りがありました。明日信雄君を、推乳見學の爲め、遠藤さん方へ遣はす事にいたしました。七月十七日 一 邸

御禮 先きに本欄に、二邸が一才怪我した事をお知らせし、各方面から御見舞の御言葉をいただいた。眞に感謝の御言葉を送りたい。安孫子先生も大へんお成績がよき、賞めて行かれたらうです。これからパン造りや、夕飯の仕度にもお参りいただき、風呂に入れたいと思ひます。私の日々もほんたうに忙しうございます。おかげです。至つて壯健であるので喜んで居ります。お金を送つて下さつたので、ありがとうございます。今日七月二十日午後四時 一 邸

内郷村報の 六大使命

一、政務政議を超越して、村の充實を謀る。二、村内公私各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、組織和進努力の實現を期す。三、本村社會事業の徹底を期す。四、村内の慈善興行を奨励し、且之を獎勵す。五、本村と本村外者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。六、餘力を以て、國民發展に當る。

村報 天法人 順人 則 其頃 社長の社長、重役、所長、役員、従業員は今如何。村長、村吏員、議員、區長、これ亦如何。此の十数年前に、直径一寸足らずの苗木が、今日ではかく迄に成木して居るのであるから推して、今から十年後五十年後、乃至百年後